



石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 櫻井 弘

令和2年11月6日

第7号

『続・読解力』

櫻井 弘

10月21日に行われた石神井オリンピックでは、3年生が態度で手本を示し、各学年ともに全力・協力を体験できた素晴らしい行事となったと思います。閉会式で石神井オリンピックで学んだことを、これからの生活に生かすようにしていきましょうとお話ししました。それが早速、10月23日の生徒会役員選挙立会演説会で表れたと感じました。リモートによる初めての立会演説会でしたが、選挙管理委員会がしっかりと打ち合わせを行い運営してくれました。立候補者、応援演説者は決められた時間の中で自分の思いや公約を分かりやすく、そして熱く語ってくれました。各教室で聴くみんなも画面に合わせて挨拶をし、演説が終わると各教室から拍手が聞こえてくるなど、真剣に聴くことができました。このような皆さんの様子から、「自分の役割を責任をもって果たすこと」、「人の思いを受け止め自分にできることを全力で行い協力する態度」を実践してくれていると感じました。これからもこの意識を大切にしていきましょう。

さて、前号(第7号)でもお伝えした「読解力」について、もう少し勉強してみましょう。この読解力は、AI(人工知能)が苦手と言われている力です。挑戦してみてください。前号では、係り受け解析、照応解決、同義文判定の3つの力を紹介しました。今号でも3つの力を紹介します。

- 1 推論：小学校6年生までに学校で習う基本的知識と日常生活から得られる常識を動員して文の意味を理解する力

問題：世界の難民・国内避難民らの数は、2015年末、前年より約580万人増えて、約6530万人に達した。国連難民高等弁務官事務所が統計を取り始めてから最も多く、第二次世界大戦後、最悪の状況だ。このうち、国境を越えた難民は約2130万人で、パレスチナ難民を除くと、最も多いのはシリアの約490万人になる。

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか。「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

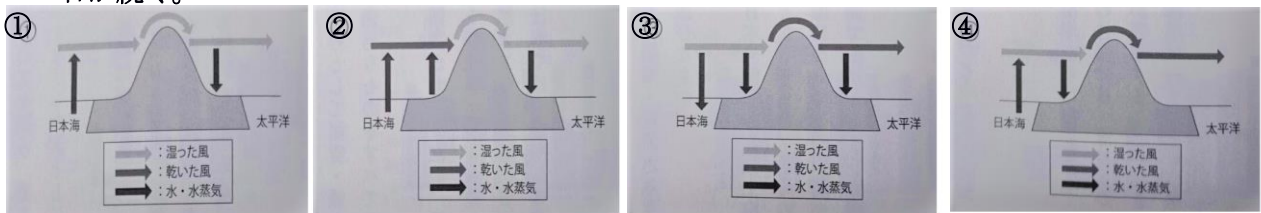
- 2015年末のデータによれば、国内避難民より、難民のほうが多い。

- ① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

- 2 イメージ同定：文章を図やグラフと比べて、内容が一致しているかどうかを認識する能力

問題：以下の文を読み、冬の季節風の流れ方を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

冬の北西からふく季節風は、暖流の対馬海流が流れる日本海を渡るときに大量の水蒸気を含むため、日本海側の地域に雨や雪を降らせる。太平洋側では、山脈を超えた乾いた風が吹いて晴れの日が続く。



- 3 具体例同定：言葉の定義を読んでそれと合致する具体例を認識する能力

問題：比喻の方法で、「ように」「ような」などのことばを使ってたとえる表現の方法を直喩といい、「ように」「ような」などのことばを使わないで、たとえるものとたとえられるものをじかに結び付けて表現する方法を暗喩(隠喩)という。

- 「直喩」がもちいられている例を選択肢の中からすべて選びなさい。

- ① 君のように暗い人は芸能人には不向きだね。
② いつも明るい母は我が家の太陽だ。
③ 5年まえの夏を昨日のように思い出す。
④ いつものように部屋を真っ暗にして眠った。

答え：1：② 2：④ 3：③